

# 令和3年度 四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会 提言活動

令和3年12月1日(水)に「四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会」(発起人代表: 濱田省司高知県知事)が、国土交通省の木村次郎国土交通大臣政務官と財務省の北尾昌也主計官に「四国8の字ネットワーク」のミッシングリンクの早期解消や「高速道路における安全・安心基本計画」による暫定2車線区間の4車線化などについてWebによる提言を行いました。

## ■国土交通省 木村次郎 国土交通大臣政務官、財務省 北尾昌也 主計官への提言

### ●濱田高知県知事

・8の字は、四国の経済活性化に向けた取り組みを支え、南海トラフ地震などへの備えを高めるために不可欠な基盤。また、ポストコロナの「新たな日常」を実現するとともに、地方創生及び国土強靱化を推進し、ストック効果を早期に発現させるためには、「四国8の字ネットワーク」の早期整備が不可欠。

四国の総意として、四国8の字ネットワークの早期整備等令和3年度補正予算及び令和4年度予算では道路関係予算を拡大した上で、所要額の確保をお願いする。



### ●佐伯四国経済連合会会長

・8の字は、四国にとって、大規模災害への備えや四国が一体となった地域づくり、地方創生に欠かせないインフラ。

道路整備による移動時間の短縮が、地域のポテンシャルを引き出し、地域間の相互連携や四国が一体となった地域づくりを促進させる。

8の字の整備は、地元経済界や地域住民の長年の悲願となっており、早期整備をお願いする。

### ●中村愛媛県知事代理 八十島参与

・未事業化区間「宿毛～内海」では、唯一の幹線道路である国道56号が津波浸水想定区域内に位置し、避難救援活動の難航や陸の孤島の発生が懸念されているため、ダブルネットワークの形成が急務。

「宿毛～内海」間の早期事業化とミッシングリンクの早期解消に必要となる予算の確保をお願いする。

### ●飯泉徳島県知事代理 木下県土整備部副部長

・フェリーを活用したモーダルシフトが進展し、九州・京阪神を最短で結ぶ四国ルートの利用が増加。現在事業中の4車線化の早期完成と全線4車線化に向け、ご支援をお願いする。

### ●浜田香川県知事代理 多田東京事務所長

・高松自動車道は全線4車線化しており、国際コンテナ貨物量の増加など、その効果の表れと考えている。有事の際の緊急輸送路機能の確保や「ひと・モノ」交流拡大の効果が発揮できるよう、8の字の早期整備にご支援をお願いする。



### 木村 大臣政務官からの回答

- ・宿毛～内海では、都市計画手続きを進めていると聞いており、そういった個々の検討進捗状況を踏まえながら、しっかりと対応していく。
- ・暫定2車線区間の4車線化について、利活用状況を踏まえながら、事業化を前向きに検討していく。
- ・予算確保は、国交省全体としての所要額確保が大前提。皆様と心を一つにして確保していきたい。
- ・物流、人流、観光及び防災面において、道路は幹線ほどその効果が高いと認識。それぞれの区間、要望を踏まえながら前向きに対応していく。

### 北尾 主計官からの回答

- ・全部つながってこそその道路。予算制約がある中で計画的に進めていく。
- ・道路整備を進めるためには、税財源確保が必要であり、市民の皆様との日頃の活動のなかで、必要性についてご理解を深めていただきたい。

四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会  
(発起人: 徳島県・愛媛県・香川県・高知県・四国経済連合会)